

## 葬送のなぜ？

現在では様々な表現に変わってきていますが、古くから言い伝えられている「葬儀のなぜ」を考えてみましょう (A) (B) (C) から選んでください

- (1) 死に装束といわれる着物はなぜ白色なの？  
(A) 死者の魂の浄化を表し、清純無垢につながる為と考えられている  
(B) 死は突然に訪れる為、色に染める時間が無かったと考えられている  
(C) 結婚式と同様に嫁いだ家に染まるように、天国色に染まるように願が込められている
- (2) なぜ故人に花を添えるの？  
(A) 故人の死臭を花の香りでごまかす為と考えられている  
(B) カラフルで綺麗からと現在の形になった  
(C) 祈りを込めて花を捧げ、慈悲あるいは愛を象徴した供え物と考えられている
- (3) 故人を棺に納めるのはなぜ？  
(A) 感染症の予防の為に亡くなった方をお棺に入れるようになった  
(B) 燃えやすくする為に、木製のお棺に入れるようになった  
(C) 天国に行く乗り物と考えられ、三途の川を渡る船だと云われていた
- (4) なぜ湯灌<sup>ゆかん</sup>をするの？  
(A) 故人の霊を無事に天国へ送るためと考えられている  
(B) 入院していて御風呂に入っていなかったため、綺麗にしてあげる為だと考えられる  
(C) 映画「おくりびと」で流行っているため、映画会社の宣伝効果。
- (5) 数珠はなぜ左手に持つの？  
(A) 左手は仏の手と云われ、仏の願いが届くようにと考えられる  
(B) 特に意味は無く、右で数珠を持つと焼香がしにくいので左で持つ  
(C) 右手は悪魔の手といわれ、地獄に連れ去られないように
- .....

答 (1) —A

白は清純無垢につながると考えられる。白は故人の魂の浄化を表し神や仏のもとに往く、極楽浄土に生まれ変わる巡礼の衣装であるといわれています。

答 (2) —C

故人に花に祈りをこめて捧げるという行為が、古くから葬儀の中心となす儀礼でした。花は慈悲あるいは愛を象徴した供え物でありますし、死が苦しみの伴うものであり遺族にとって悲しいことだけに心を和らげ癒す供え物でもあります

答 (3) —C

日本では仏教の伝来とともに高貴な人の葬儀として行われるようになり、棺は天国に往くための船やあの世に渡る乗り物として考えられ、三途の川を渡る船だとも云われています。

(A) は土葬から火葬になった理由の一つです。

答 (4) —A

仏教では亡くなった人は浄土の旅に出るのですから、身体を綺麗に清め清潔な衣装に身を包むことを供養のひとつと考えます。逆さ水の作法は故人の霊を無事に天国に送るための大切な儀礼だと考えられています。

答 (5) —A

仏教では左手は仏の手、右手は凡夫の手といわれ、合掌は仏の手と凡夫の手が一体になる姿といわれています。ですから仏の手である左手に掛け浄土へ導いてもらう為です